



日本遺産「葛城修験」に追加認定！ ～2024年(令和6) 降井家住宅～

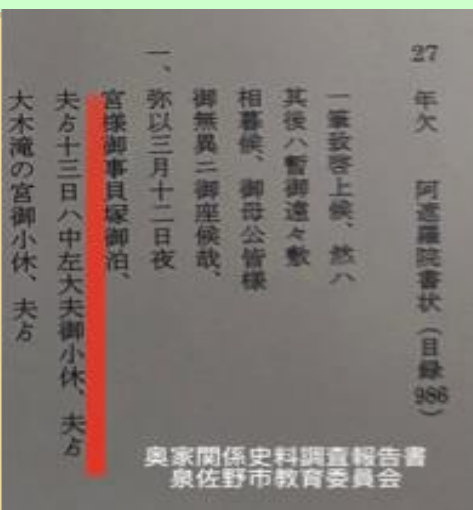
葛城修験って？

大阪・和歌山の府県境を東西に走る和泉山脈、大阪・奈良の府県境に南北にそびえる金剛山地——総延長112キロメートルに及ぶこの峰々帯は「葛城」と呼ばれ、多くの神々が住まう山として人々に崇められておりました。

7世紀、その麓の地である現在の奈良県御所市で生まれたのが役行者(えんのぎょうじゃ)です。

役行者は、修験道の開祖と言われていますが、その役行者が最初に修行を積んだのがこの地です。

～日本遺産 葛城修験ストーリー～ より



永井氏(生涯学習推進課・学芸員)に 訪問取材しました！

聖護院門跡の一派が中津川修験の際に、熊取大久保の中左夫(降井)家で休憩したという文書が、泉佐野、奥家から見つかり、追加登録に結びつける事ができた。

これまで、貝塚、泉南市と合同で追加登録を目指してきており、それぞれの市町に所在する文化財(4件)が認定されるという喜ばしい結果となりました。

よく親しまれている雨山は、南北朝時代に山伏による戦いや、山伏が雨乞いを手伝った等の記録があるものの、「葛城修験」に結び付く根拠がなく断念したという経緯がある。

熊取町では、今秋に3市町(熊取、貝塚、泉南)合同報告会、来年一月には、煉瓦館で葛城修験についての説明、講演会なども企画している。



くまとり SANPO COBIRI の日 2024

スマホde

スタンプラリー

2024年11/1(金)～11/4(月・祝)



昨年当選者の喜びの声

当選した商品券で
いつもよりちょっと
贅沢なスイーツを購入！
本 COBIRI と
後 COBIRI を
満喫しました♡

